

products and sources は、積雪の観測手法を中心に述べた章である。積雪観測のさまざまな測器に関する解説や、衛星データから得られる積雪の情報、そして最近の衛星に関する情報が解説されている。

本書は積雪と気候の相互作用に関係した最新の研究を概説し、積雪の物理過程の理解を深めるとともに、気候変動に伴う積雪の変化の予測に役立つ

る事を目的として書かれている。積雪の主な物理過程に関しても詳しく解説されており、これまでの研究に基づいて積雪モデルを構築していく上でも、必要な情報がまとめられた著書である。

(防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター
平島寛行)

(2008 年 11 月 26 日受付)

『あっ！ゆきだ』(Snow Is Falling)

フランクリン M. ブランリー 作

ホリー ケラー 絵

たかはしつねや 訳

福音館書店

2008 年 10 月 25 日発行, 31 頁, 1,365 円 (税込)

ISBN978-4-8340-2359-6



雪にまったく縁がないわけではないけれど、年に数度しか目にする事のない地域に住んでいる者にとっては、『あっ！ゆきだ』というタイトルを見た瞬間、ちょっとワクワクする。白くてふわふわした冷たい雪、普段見慣れた景色を白銀の世界に変えてしまう雪は、たまに訪れるお客さんといった感覚だからだ。また、雪遊びをしている子どもたちが描かれた表紙の絵がほのぼのとした感じなので、寝物語として子どもに読んで聞かせようかといった雰囲気がある。しかし、読んでみると、子どものみならず大人までも科学の世界に誘う絵本だったことに気づく。

「雪で遊ぶのはとても楽しいもの。でも雪は、何かに、誰かに、役立っているのでしょうか？ 動物や植物、私たち人間と、どんな関わりがあるのでしょうか？」

「たとえば、雪は植物や動物の棲む地面を覆うことによって、植物を凍らせ、動物たちをこごえさせてしまうのでしょうか？」

「いえ、そうではありません。むしろ雪は「毛布」の役目をして、暖かく守ってくれるのです。」

「それって本当？ では、確かめてみよう！」

本書は、天文学博士でアメリカ科学博物館ハイデン・プラネタリウム (American Museum-Hayden Planetarium) の館長をつとめた科学解

説者であり、アメリカの幼稚園児用に出版されている科学入門書「LET'S-READ-AND-FIND-OUT SCIENCE」(科学絵本シリーズ)の発起人の1人でもあるフランクリン M. ブランリー (Branley, Franklyn Mansfield 1915-2002) が著し、パーソンズ美術大学で絵を学んだ絵本作家ホリーケラー (Holly Keller) が絵を担当した科学絵本である。ブランリーの科学絵本は、どれも楽しく科学に興味をもて、しかもわかりやすい内容となっている。地球たんけんたいシリーズや宇宙たんけんたいシリーズなど著作は 140 を越える。

この絵本には、確かめるための導きのヒントや方法も描かれているので、本当?と思った人は、雪が降ったら実際に確かめることができる。親子で温度計を抱えて雪の中に出て行く姿が目につくように。また、巻末の「ゆきについて もっとしろう」では、クイズ形式で雪の不思議を解説しており、丁寧なつくりになっている。さらに、もっと雪のことを知りたい探求心旺盛な人のために、「ほっかいどう ゆきたんけんかん」のホームページまで紹介されているので、雪氷の初心者なら、大学生にも参考になりそうだ。まずは、手にとっていただきたい。

(西堀榮三郎記念探検の殿堂 角川咲江)

(2008 年 11 月 29 日受付)